

第106回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録

I. 日 時：2023年11月30日（木）13時30分～15時50分

II. 場 所：WEB会議

III. 出席者：（委員17名中、出席者17名（代理出席1名含む））

（敬称略）藤田（マックスコーポレーション）、三好（川崎重工業）、飯田（JERA）、
三原（島根大）、天野（早大）、岡（富士電機）、松田（HSB ジャパン）、
木村（東芝 ESS）、張（電中研）、早川（NIMS）、添木（大口自家発）、
三沢（電源開発）、関根（IHI）、櫻井（日本電気協会）、堀内（火原協）、
中東→羽原（関西電力）

代理者：長谷川（佐藤（発電技検）代理）

欠席者：なし

常時参加者：鎌田（経産省）

オブザーバ：鈴木（三菱重工業）、伊藤（IHI）、井手（JERA）、富永（三菱重工業）

事務局：中村

IV. 配付資料

106-1 第105回火力専門委員会議事録（案）

106-2 専門委員会・分科会委員案

106-3 第107回規格委員会議事録（案）

106-4-1 材料分科会報告

106-4-2 構造分科会報告

106-4-3 溶接分科会報告

106-4-4 配管減肉分科会報告

106-5 火力専門委員会書面投票 No.97（第IV章「压力容器」改訂案）及び No.100（第I章
「総則」改訂案）結果報告

106-6 火力専門委員会書面投票 No.98（J NCF141TB に関する事例規格案）結果報告

106-7 火力専門委員会委員長選任 結果報告

106-8-1 火力専門委員会書面投票 No.97（第IV章「压力容器」改訂案）意見対応

106-8-2 火力専門委員会書面投票 No.100（第I章「総則」改訂案）意見対応

106-8-3 火力専門委員会書面投票 No.98（J NCF141TB に関する事例規格案）意見対応

V. 議事

1. 前回議事録確認 [106-1]

前回第105回（9/1）議事録（案）の確認を行い、議事録案は承認された。

2. 専門委員会、分科会の委員・役員承認 [106-2]

(1)火力専門委員会委員の推薦承認

以下の新任、再任委員候補が報告され、出席委員全員の賛成により新任、再任委員候補を規格委員会に推薦することが承認された。

- ・火力専門委員会： （新任） 富永氏、松尾氏
（退任） 藤田委員長、長谷川委員、三原委員
（再任） なし

(2) 分科会委員・役員の承認

各分科会の以下の退任、新任、再任候補が報告され、出席委員全員の賛成により新任、再任候補が承認された。なお、材料分科会の長谷川委員再任審議の際、長谷川候補が火専委員の佐藤委員の代理者として出席していたため、当事者の立場として退席するか、または代理者として投票に参加するかについて確認が行われた。専門委員会運営規約では、「委員選任要領の補足に従う（第3条の(2)）」となっており、補足には「委員の選任は委員候補者を退席させて議決する。（内規5）」と記載されているのみであることから、委員会判断として当事者である長谷川候補退席の後に投票を行った。

- ・材料分科会： （新任） 千葉氏
（退任） なし
（再任） 長谷川委員、橋本委員
- ・構造分科会： （新任） なし
（退任） なし
（再任） なし
- ・溶接分科会： （新任） なし
（退任） なし
（再任） 鈴木主査
- ・配管減肉分科会 （新任） なし
（退任） なし
（再任） なし

3. 報告事項

(1) 発電用設備規格委員会報告

[106-3]

第107回規格委員会（9/20WEB開催）の議事内容のうち、火力及び委員会運営に関連する内容が報告された。

- 発電用火力設備規格に関する審議
 - ・なし
- 火力専門委員会報告（9/1WEB開催）

(2) 分科会報告

1) 材料分科会報告

[106-4-1]

伊藤材料分科会主査から以下の報告があった。

- ・再任候補についてメール審議を行った。
- ・JNCF141TB 事例規格案の火力専門委員会書面投票の結果、意見付きの賛成及び保留

の回答があったため、意見対応案を作成、委員からのコメントを反映して一部修正を行った。

- ・次回開催は未定、実施はWEB

2) 構造分科会報告

[106-4-2]

飯田構造分科会主査から第122回分科会(11/7 WEB)の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 火専投票 No.97 (詳細規定第Ⅳ章圧力容器 改訂案の承認) の意見対応を反映した新旧対比表について審議を経て修正を実施した。また、火専書面投票 No.100 (詳細規定 第Ⅰ章 総則 改訂案の承認) で提示されている意見及びその対応案の内容を共有した。なお、いずれの投票の意見対応案も、本日までに各委員より了解が得られたことから、本日、その意見対応による修正案についてご審議いただく。
- 次回開催予定は2024年2月7日(水)

3) 溶接分科会報告

[106-4-3]

鈴木溶接分科会主査から再任委員候補の火力専門委員会への推薦のメール審議を行ったことが報告された。次回開催は未定。

4) 配管減肉分科会報告

[106-4-3]

配管減肉分科会としては休会中であるが、H29年6月策定の活動方針に基づき、STB1 火力設備配管減肉管理技術規格の改訂検討の契機とされる配管減肉に関する特異なトラブルの情報収集を業界団体に対して行い、令和4年度に発生したトラブルはないとの結果であったことが報告された。

(3) 火力専門委員会書面投票 結果報告

[106-5,6]

以下の書面投票議案の可決が報告された。

- ・ No.97 (第Ⅳ章「圧力容器」改訂案の承認)
- ・ No.100 (第Ⅰ章総則改訂案の承認)
- ・ No.98 (J NCF141TB に関する事例規格案承認)

(4) 火力専門委員会委員長選任 結果報告

[106-7]

「火力専門委員会 委員長選任」の結果が報告された。推薦依頼の結果、三好委員、飯田委員の2名が推薦された。無記名郵送による投票の結果、期日までに委員総数18名から18通の投票があった。委員総数(18名)の過半数である12票の投票があった飯田英男候補が選任された。

4. 審議事項

(1) 火力専門委員会書面投票 No.97 (第Ⅳ章「圧力容器」改訂案) の意見対応及び修正案

[106-8-1]

飯田構造分科会主査から、資料に基づき書面投票の意見対応内容の説明がされた。

意見対応に伴う修正内容は、編集上の修正および軽微な技術的修正(ASMEのSI値反映等)であることが了承され、次回の規格委員会に改訂案の書面投票実施について提案を行うことに

なった。

(2) 火力専門委員会書面投票 No.100（Ⅰ章「**総則**」改訂案）の意見対応及び修正案

[106-8-2]

飯田構造分科会主査から、資料に基づき書面投票の意見対応内容の説明がされた。

民間認証制度の適用に関する記載について、改訂案で削除したことにより認証を行う範囲に齟齬が生じているという保留意見を踏まえ、改訂前の記載を一部残すことで意見者から了解を得た。国内の運用実態に合わせて削除した記載を元に戻しても問題ないかとの質問があり、記載を戻した第三者認証機関を規定している部分は、第三者機関の運用ではなく定義を記載したものであるので、残しても問題ないとの説明があった。また、用語の定義の表を削除したままでも良いかを確認する質問があり、国内での運用がないことから、削除したままでも差し支えないとの説明があった。

意見対応に伴う修正内容は、全て編集上の修正であることが了承され、次回の規格委員会に改訂案の書面投票実施について提案を行うことになった。

(3) 火力書面投票 No.98（J NCF141TB に関する事例規格案）の意見対応及び修正案

[106-8-3]

伊藤材料分科会主査から、書面投票の意見対応内容の説明がされた。

製管方法として、熱間仕上げ、冷間仕上げの規定がないという保留意見に対して「熱間仕上げ又は冷間仕上げ」の表記を追記した。また、固溶化熱処理時は、急冷が一般的であるが、そのことを明確にするため、冷却方法として急冷の記載を追記することとした。その他、**改訂案の表記上の修正及び軽微な技術的修正を行うこととした。**

上記の意見対応に基づく修正内容が了承され、意見反映後の**改訂案**を火専三役が確認を**行った**後に、次回の規格委員会に提案を行うことになった。

5. その他

飯田次期委員長より、副委員長の指名、次期委員長および副委員長の協議により、幹事の指名が行われ、副委員長は富永氏、幹事は三好委員を火力専門委員会三役として次回の規格委員会に提案することが了承された。また、年1回を目途に実施する対面での開催を、次々回に行うことを周知した。

Ⅵ. 次回開催予定

日 時：2024年2月28日（水） 13:30～17:00

場 所：Web 方式

以 上